

勝山市立図書館 からのお知らせ

～新刊本の一部を紹介します～

一般

「昭和100年の100人 文化人篇」

文藝春秋

三島由紀夫、湯川秀樹、やなせたかし、吉田健一、水木しげる…。月刊『文藝春秋』掲載記事の中から、肉親・親友・側近といった、本当に近い人たちが書いた文化人100人の素顔を集成する。



「身近な薬物のはなし」～タバコ・カフェイン・

酒・くすり～ 松本 俊彦/著 岩波書店

アルコールやカフェインといった身近な薬物＝精神活動に影響を与える化学物質と、人はどう付き合ってきたのか。身近な薬物との付き合い方を、依存症研究の第一人者と考える。



「脳を休めればすべてがうまく回り出す」

大嶋 信頼/著 WAVE出版

いろいろなことがうまくいかないのは、脳が疲れているから。よくある事例を使って、悩みのメカニズムを脳科学の視点から解説したうえで、脳を休ませ、日々の悩みを解決する方法を紹介する。



「熟柿」

佐藤 正午/著 KADOKAWA

轍き逃げの罪に問われ、裁判中に息子、拓を出産したかおり。出所後、息子の顔見たさに園児連れ去り事件を起こした彼女は、息子との接見を禁じられ、西へ西へと各地を流れていくが…。



中高生

「社会に出る前に知っておきたい

『働くこと』大全 水町 勇一郎/著

全社会人、そしてこれからキャリアを考え始める学生に必要な「労働に関する知識」。日本での働き方の特徴、会社やキャリアの選び方、実際に働くときの味方になる法律や制度まで、会話形式で解説。



「じんせいはいしがみついてなんぼです」

木坂 涼/詩 フレーベル館

なにがとくいかときかれば それは やっぱりトンネルほり（「モグラ」より）詩人・木坂涼の動物をテーマにした詩と、絵本作家・長谷川義史のユニークなイラストを収録。



児童

「よりよい学校をつくろう！ みんなの

委員会」 安部 恭子/監修 岩崎書店

学校生活を楽しく豊かにするために、各学級・学年が交流を深め、協力しておこなう児童会活動。児童会、学級委員など、学校生活のしぐみを整える委員会の仕事をイラストや写真とともに紹介する。



「スシニギリス」～おいしいせいぶつ図鑑～

クマコロ/共作 PHP研究所

おすしか、恐竜か。なぞだらけな生きもの「スシニギリス」の生態とは？ 大きさはいろいろ、お米みたいな毛並みのからだ…。サーモンニギリスをはじめ、50種類以上のスシニギリスを収録。



5月の行事案内

勝山市立図書館 ☎88-6000

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 絵本の森 午後2時～2時30分
4	5 休館日	6	7	8	9	10 おはなしでてこい 午後2時～2時45分
11 アニメ上映会 「ざんねんないきもの事典」 午前10時30分～11時20分	12 休館日	13	14	15 ブックスタート 受付：午前10時～ 11時30分	16	17 絵本の森 午後2時～2時30分
18	19 休館日	20	21	22	23 赤ちゃんとえほんの日 午前10時30分～11時	24 絵本の森 午後2時～2時30分
25 絵本と手品のつどい —K&ピエロー— 午後2時～2時30分	26 休館日	27	28	29 休館日（館内整理日）	30	31 絵本の森 午後2時～2時30分

今月の企画

山を楽しむ 登山を楽しむ



- 登山の本
- 山が舞台の小説
- 富士山の本など

5月11日は

母の日



お母さんが出てくる絵本や物語、「母の日」にプレゼントしたいお菓子の作り方や、プレゼントのラッピングの仕方、お手紙の書き方の本などをそろえました。

図書館職員「書子」の気まま感想録

勝山市立図書館職員の「書子」と申します。このコーナーではわたくし書子が館内の本を1冊選んで、気ままな感想をお伝えします。（紙面の都合で不定期掲載です）

「田んぼのきもち」

松原 裕子／絵 ポプラ社
児童コーナー-24 Eマ



そろそろ田植えの季節ですね。今回紹介するのは「田んぼのきもち」という絵本です。

たわわに実った稲穂の黄金色からはじまり、虫やカエルなどのたくさんの生き物が田んぼに生息する様子や、田植えを終えた人々の達成感あふれる表情…。田んぼとそれに関わる人々や生き物の姿を、田んぼの視点で描いています。

時代とともに田んぼのまわりから人々が減り、田んぼが寂しさを感じるシーンでは私も寂しくなり、月日が経ち、子どもたちが授業で田植えをするシーンでは、にぎやかさに喜ぶ田んぼに共感して、思わず笑顔になりました。

田舎といえば田んぼがあるのが当然のように思えますが、その風景は田んぼに関わる人がいるからこそなのだ、改めて気づかされました。